

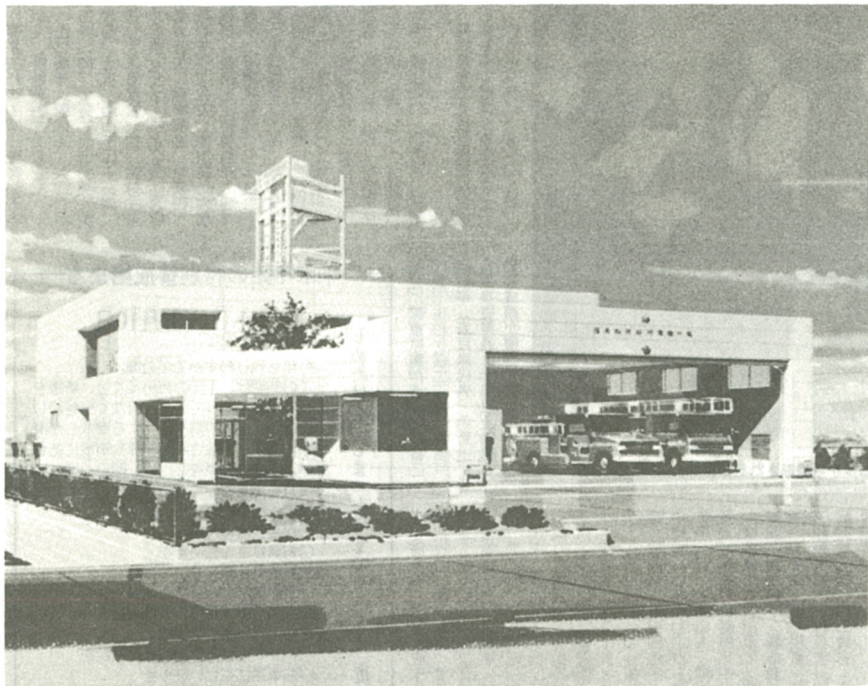


広報 新比な

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代) /〒243-04

世帯と人口	
昭和58年11月1日	
世帯	26,658世帯 (+43)
人口	87,520人 (+120)
男	44,941人
女	42,579人

毎月1日・15日発行



市消防署南分署(仮称)の完成予想図

南分署を設置

来年4月、上河内に市消防署南分署(仮称)

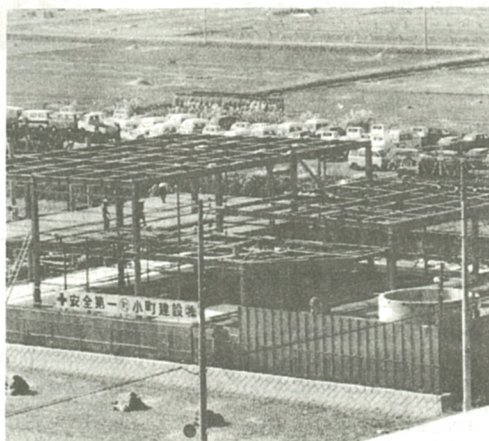
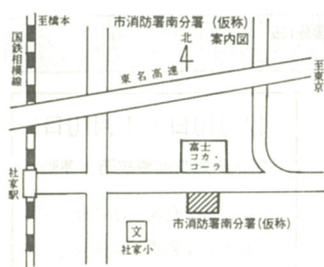
市では、消防力をさらに増強するため、現在、上河内地区に市消防署南分署(仮称)を建設中です。全国でも有数の人口急増都市である当市内では宅地開発が急速に進められ、それとともに住宅火災が一度起れば、延焼によって大規模火災に発展するなどの危険性も増し、また、化学製品の普及によって、従来考えられなかった被害なども想定され、消防力をより充実・強化する必要があります。この南分署が完成、活動を開始すると、主に市南部地域を守護範囲とすることになりますが、二階に地域コミュニティセンターを併設して、市民のみなさんの防火・防災講習会を開催活動の重点項目のひとつとするなど、新時代の消防行政を目指すものとして期待を集めています。

来年4月から活動

建設工事が進められている市消防署南分署(仮称)の建設地は、見通しの良い市南部地域の水田地帯に隣接する上河内一七五一番地で、敷地面積は二千八百四十四平方、鉄骨造二階建て、延べ建築面積八百三十四平方メートルの規模を持ちます。

来年三月に完成、四月から活動を開始する予定の同分署にはポンプ車一台が配備され、将来は救急車、はしご車などの配備も考えています。また、警員は柏ヶ谷地区に設置されている市消防署北分署と同じく交替制で常時六人が配置される予定です。管轄区域は、北分署、本署と同じく市内一円ですが、実際の緊急時には市南部地域ほぼ全体が守備範囲として想定でき、火災発生から通報、出勤、走行、放水準備を経て放水するまで七分以内で八分以内ならば火災を最少数限で食い止め、延焼を防止できると見られる基準にはほぼ合致します。

たとえば、同分署から本郷地区と藤沢市との境の用田橋付近までは、同分署から本郷地区の緊急時には市南部地域ほぼ全体が守備範囲として想定でき、火災発生から通報、出勤、走行、放水準備を経て放水するまで七分以内で八分以内ならば火災を最少数限で食い止め、延焼を防止できると見られる基準にはほぼ合致します。



来年4月の開設へ向けて工事も急ピッチ

「予防消防」に重点
最近の火災は、建物火災に限って見ると、従来的一般木造建築物と比べて燃えにくい材料が多くなると、短時間で火が回るという傾向が少なくなってきた反面、新建材の中には煙を大量に発生したり、有毒なガスを発生するものがかなりあって、火より煙やガスで被害を受ける場合が多くなっています。

そのために、初期消火の知識と同時に煙の害から身を守る知識が要求されています。また、最近では市内の一般家庭でも約七〇%以上の家庭に消火器が備え付けられています。しかし、いざという時に使い方を知らずに役に立たないという例も多く、つい先ごろ他都市で起きた火災では消火器をそのまま火の中へ投げ込んで消火しようとした例などもありました。

大活躍では困る

さて、南分署が立ち上がり市民のみなさんの火に対する正しい知識や初期消火技術、防火意識の向上がなければ火災を減らすことは決してできません。

最近の市内の火災発生件数はグラフの通りですが、その原因を見ると、最も多いのがタバコ火の不始末、次にガスコンロなどのつけ置き、風呂のからだしなどであり、市内の火災の多くはちょっとした注意で防げます。そのうち、たまたまが分かります。

今年十一月一日現在までに二十一人、死者一人、負傷者八人、損害額は六千三百七十四万五千円、そのうち住宅火災は十四件、火災全体の六二・六%に達しています。

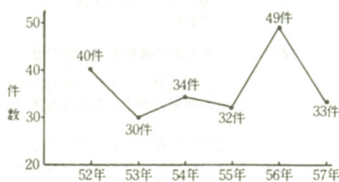
このように、みなさんご自身に知っていただきたい、火災三ヶ条を掲げます。

- 一、火の取り扱いは十分な注意を
 - 二、一火事になった消防署へすぐ通報すると同時に初期消火を
 - 三、危険を感じたらすぐ安全な場所へ避難を
- 市消防署南分署(仮称)の開設は、市の消防力を大幅に向上させることとなりますが、この南分署を含めた市の消防署が消火に大活躍するようになったら、市民のみなさん一人一人の防火意識だけが火災をなくするのには十分ではありません。これから、特に火災が発生しやすい時期です。くれぐれも火の取り扱いには要注意!

火事の原因

	56年	57年
タバコの火の不始末	6件	57件
コンロのつけ置きなど	5件	55件
風呂のからだきなど	4件	55件
たき火	2件	5件
電気関係	4件	2件
その他	28件	11件

最近の市内の火災発生件数



市の商工業の発展に尽くした

千葉さん、大貫さんほか 46人、3社、8店を表彰

十一月十日、市商工業館で市商工業の発展に尽くした方々が市長から表彰されました。



市長から表彰される千葉さん、大貫さん(左)

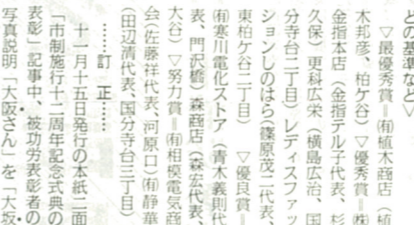
- 優良技能賞(同一職業に十年以上、技能優秀な方など)
山口義孝(配管工、大谷)
田村 隆(中野、北谷美)

年末年始の特別警戒始まる

今年も残りわずかでの年。この時期は、1年の締めくくり、新春を迎える準備もあって、なんとなく警戒心が薄れがちです。

市長随想 植木にかぎはかけられない

十一月は市民文化祭、産業まつり、交通・防犯民衆のつどい、そして美化推進の表彰行事が多くありました。



市長 左藤 究

これならよくわかる



水を吸ってホースから放水するところまでが一目でわかる

廃車を利用して 展示用消防車が登場

消防ポンプ自動車(消防車)の仕組みを小学生たちに理解してもらうため、廃車された消防車を展示用として改装した。

Table with 4 columns: Item, Unit, Large Store Price, Small Store Price. Lists various goods like oil, sugar, and flour.

今月のプロフィール

遺跡はみんなの財産
杉久保遺跡発掘を指揮した
河野一也さん

ある市内杉久保に移り住んでこの発掘調査に携わってきた。これはこの発掘調査の成果だ。

「自分今まで発掘した同時代の遺跡の中で最大のものです。五十二年四月から始めた市立杉久保南側の杉久保遺跡の発掘が完了した。



河野一也さん

「遺跡の発掘作業は、ある程度ロマンチストでないといけません。当時の人々の暮らしや周囲の情景などを描くことは、考古学では当たり前のことだ。

情報コーナー

市役所 ところ 平243-04 海老名市国分155
催しもの
●6講座を開催
市立中央公民館では、下記の6つの講座を開催します。

●老人趣味の教室「農村民俗」
▷12月13、14、15日と20、21日の5日間で1コース、午後1時~4時、西部福祉館

●婦人卓球リーダー養成講座
▷1月10日~2月28日の間の8日間、県立県央地区体育センター

Table with 6 columns: Course Name, Content, Personnel, Period, Days, Hours, Instructor.

●市民教養大学講座
近代的文学 近代の代表作家の作品を鑑賞

●生活用品交換情報
「譲ります」ベビーバス、おまる、けた箱、和ダンス、美容自転車、木製子供用いす、天然ガス用クリーンヒーター、マットレス、おむつ乾燥器、小型冷蔵庫、電気オルガン、おもちゃのロボット

情報コーナー

島倉千代子ショー
キャプテン モシモシ百万年 入場無料
クリスマス・ピアノ・リサイタル
花房晴美

12月10日~1月10日
年末年始交通事故防止運動
飲酒運転追放 ゆく年くる年みんな笑顔で交通安全

●工業統計調査にご協力
12月31日現在で工業統計調査が実施されました。
●ご利用ください特設相談
一人権週間は12月4日~10日

定着した秋の祭典

市民文化祭・産業まつりの印象



A・パリーナさんと彼女の作品

十一月三日から六日まで市文化会館などで「市民文化祭」が、また十一月六日に市役所で「第七回市産業まつり」がそれぞれ行われました。

市民文化祭は、緑と太陽のまち、海老名の文化をテーマに九十四団体二千七百十五人が参加しました。出演部門では、小・中・高校生の参加が増えたことが今年の特徴で、フィナーレでは、海老名高校・大谷中学校の西フラスバンドが「わがまち海老名」を台奏し、海西中学校合唱部が歌い、市レクリエーション協会などの方々が会場いっぱいになり、披露して四日間わたる市民文化祭が終りました。

また、展示部門でも新しい出品参加者が多く、園にお住まいのアメリカ人、A・パリーナさんは今年初めて華道に作品を出品。観覧者から、作風が日本の的でとても素晴らしい、との声もあって注目を浴びていました。

一方、産業まつりは、あいにくの雨で出足が心配されましたが、お昼ごろには会場がいっぱいになり、最終的に二万五千人の来場者がありました。今年のテーマは「郷土のかおりゆたかな産業」。農家の人たちが、大切に育てた野菜、果物、花など、割安で売られ、また豚汁やそばの無料サービスもあって、雨の中、来場した方々は満足して帰りました。

この二つのまつりの様子市広報モニターの木下恭子さんと鈴木英夫さんにレポートしてもらいました。

美り多い文化祭

青空さわやかな秋風に誘われて、文化の日らしい一日を過ごさず、市民文化祭へ行って来ました。

中央公民館、総合福祉会館など訪ねる機会もなく、こんなすばらしい建物があったのかと感心させられました。

文化会館ホールでは、力強い舞や、始め、民謡舞踊、剣詩舞道、台奏など静かな動、動から静へとみるみる変わる舞台にすっかり夢中になりました。演じている人々の生き生きとした表情を見るにつけ、熱中している姿をうましくも思いました。

展示部門では、出品数も多くとても見ごたえがありました。菊花や紅葉の木々の盆栽はまさに秋そのもので、野草の会のコーナーでは道端の草花がこんな



生徒たちも新鮮な演技を披露

に可憐な花びらだったのかと、新鮮な感動を受けました。華道、絵画、書道、手作り絵本、陶芸など、それぞれの力作も頭が下がりました。

また、中心荘の人々の作られた手芸品すばらしく、欲しいものもたくさんありました。これらも頭張って作っていたのだと思います。

文化祭を見学して子育てや家事が忙しいことを理由に、ゆとりのない自らの生活を大いに反省させられ、自分たちの趣味や生きがいを持つことの大切さをしみじみ感じさせられました。

また、地域を身近に感じ、より愛着が持てるよう、いろいろな行事に参加することの大切さも知り、美り多い一日でした。(国分寺台一丁目 木下恭子)

市民参加の「まつり」に

産業まつりの当日は朝から雨。このような天気では、さぞかし人出は少ないものと予想して、市役所前の会場へ出かけました。

ところが案に相違して、傘をさしながら重そうに野菜を抱える人、豚汁の入った器を大切にうに持っている子供たちなどに驚かされました。

「まつり」は、参加型のものと、観賞型のものとに分けられるのですが、当然、この産業まつりは観賞型が中心と考えておりました。

ところが、もちつき大会で行列を作りながら、思わず掛け声をかけている子供たち、即売品売場で売り手と買い手が相談成立てて握手している風景、青空市で作柄を尋ねている人などを観ていると、この「まつり」を賞型と決めつけられないように思われました。

品評会の会場に並んでいる立

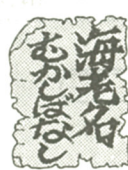
十二月八日といえば、太平洋戦争に突入した悪夢の日であるが、これとは別に少年の日の思い出につながるおもしろい風習があった。

それは、「この日を「八日僧」(ようかそう) といつて、夜になると真っ赤な目をつたけ持ったいわゆる一つ目小僧という妖怪(ようかい) が各家々を回り歩くという俗信行事である。

その日夕暮れ近くになると我が家の祖母はきまぐれ「表にある履き物はみんな家へ中へ取り込みな。そして早く戸も閉めあめえな」と言いつけるのだ。そしていそいそとすく小屋からくすかきこ(山から落ち葉を入れて連ぶ大かご)を持って来て戸口に置くのだ。近所では芋を洗っただけ弱点があった。それは何のたくさんあるもの

な行事に参加することの大切さも知り、美り多い一日でした。(国分寺台一丁目 木下恭子)

洗う目かごを出しておく家もあつた。なぜこんな奇妙なことをしたのかわんとはかり頭を握えて一目散に退散してしまつた。だからこの悪魔払いにかごを庭に置いた戸口に



海老名おかしな風習

一つ目小僧

洗う目かごを出しておく家もあつた。なぜこんな奇妙なことをしたのかわんとはかり頭を握えて一目散に退散してしまつた。だからこの悪魔払いにかごを庭に置いた戸口に

を極度に恐れることだつた。そうしたものに出会うことや、これはかなわんとはかり頭を握えて一目散に退散してしまつた。だからこの悪魔払いにかごを庭に置いた戸口に

目かごをくすくすかきこ(右) やすす竹、神仏のお札などを燃すたんに焼きのことである。その灰の山を見て一つ目小僧も納めし「じゃあまた来年」と言つてすすす引き上げて行つてしまつた。これで村人も救われるというのである。

この風習は、死亡率高かつた時代に無呼吸を願う庶民の切なる願いであったか、あるいは形を変えた勧善懲悪の教えたつたであろうか。とにかく昭和の初めまで行われていた関東地方独自の風習だつたのである。(他田武治氏「国分」から寄稿されたもの)

年末年始のゴミ収集

- ゴミ 年末年始の収集日は、下表の通りです。通常の収集日と異なりますので十分注意してください。
- し尿 通常の収集作業日が月末または月始めのご家庭には12月29日(木)までに同う予定です。アパート・事業所など不定期収集の場合の申し込みは、12月20日(火)までに電話または直接に美化衛生課へ。また、年始は、1月4日(水)から業務を開始します。
- 汚水 収集の申し込みは、し尿と同じように12月20日(火)までにお願いします。また、年始は、1月4日(水)から業務を開始します。

☆大掃除はお早めに☆

大掃除をしますと通常の生活からは出ないようなゴミが多量に出ます。例年、大掃除をする家庭が年末に集中し、ゴミ収集車が一度にゴミ停のゴミを回収できないことがあります。円滑なゴミ収集をするため、大掃除は早めに行うようお願いいたします。また、新聞紙類、ビン、缶など資源化再利用できるゴミは、集団資源回収または廃品回収に出してください。買い替えなどで不用となった電気製品や家具類は、購入先に引き取りを依頼してください。

ゴミ収集日程

地区	年 末 (12月)		年 始 (1月)	
	燃えるゴミ	燃えないゴミ	燃えるゴミ	燃えないゴミ
中新田・さつき町・河原口	25日(日)・28日(水)	20日(火)	5日(水)	10日(火)
上郷・下今泉	25日(日)・28日(水)	21日(水)	5日(水)	11日(水)
中河内・中野・社家・今里 上河内・杉久保	25日(日)・28日(水)	23日(金)	5日(水)	13日(金)
本郷・門沢橋	25日(日)・28日(水)	23日(金)	5日(水)	13日(金)
国分・大谷・勝瀬	26日(月)・29日(木)	21日(水)	6日(金)	11日(水)
国分寺台・浜田町・上今泉	26日(月)・29日(木)	22日(木)	6日(金)	12日(木)
柏ヶ谷・東柏ヶ谷	27日(火)	19日(月)	4日(水)	9日(月)
望 地	27日(火)	22日(木)	4日(水)	12日(木)

※年末は通常の収集日より1日ずれています。そのため日曜日(25日)に収集する地区があります。